

清水区パークオリエンテーリング大会

静岡県清水区 J-step(ナショナルトレセン)、2008年4月5日

村越 真

地域に根ざした大会は、普及の礎。3回目を迎えた清水区パーク0大会は、50人を越える小学生を参加者に得て、ピクニック気分の楽しい大会となった。

楽しいローカル大会

世界選手権の運営も楽しくやりがいがあるが、ローカル大会も捨てたもんじゃない。とりわけ元気な子どもたちが数多く参加し、楽しそうに走り回ってくれた時は。

3回目を迎えた今年の清水区パークオリエンテーリング大会も、そんな運営者心を満たしてくれる大会となった。40分間のスコアオリエンテーリング。コントロール位置は道の上か神社の敷地など、経験者には物足りないが、初心者にはちょうどよい冒険のようであった。

大会は、昨年同様地元では知名度の高いサッカーのトレーニングセンターである Jstep を会場に行なわれ、多少の変化を持たせるために、トレインを1/3ほど西にずらして使った。一般の参加者にとって、新しいトレイン自体に価値はない。むしろ近所の同じ場所で、同じ季節に定期的に開かれていることが重要なのである。

昨年は至近にある小学校の5、6年全員にピラを配らせてもらったが、今年は全学年に配った(4年以下は原則として保護者同伴での参加)。その結果、

小学生50名とその家族20名が集まった。まだまだ多いとは言えないが、スポーツ自体のイメージが確立していない現状では、よく集まったというべきであろう。上記の小学生と家族からエリートレベルの愛好者まで104名が、春うららの庵原の里山を楽しんだ。

イベント後集めた感想でも、参加者が楽しんでくれた様子がよく分かる。

「楽しかったか?」の質問には回答した約92名のうち58名が「とても楽しい」、28名が「楽しい」と解答した。「また参加したいか」という質問には67名が「とても思う」、13名が「思う」と答えた。アンケート時に、次の案内がほしいという人にはアドレスか住所を記してもらった。1/3を越える35名がいずれかを記入している。これもまた、今回のイベントが楽しかったことの証であろう。クラブにとっても、これは重要な「顧客名簿」である。

自由記述の中でも、「子供と一緒に運動できたので」「初めて参加させていただきましたが、とても楽しく出来ました。本格的は無理ですが、遊び程



受付の後、三々五々初心者説明を受ける参加者。受付が済んだら、簡単な説明のあとすぐにスタートできる。初心者には重要な流れだ。

度なら出たいです。」「道走り主体で死にそうでしたが、選択肢が数多く用意されていたのが面白かった。いい運動になりました。」「色々な所を回るのが楽しかったから」「宝探しみたいで楽しかった」「なかなか見つからなくて面白かった。」「時間と地図を見て、歩いたり走ったり、時間を大切にす為、頭を使ったりするところ。」「初めての参加でしたが、起伏のあるコースや、自分の体力にあった選択が出来るなど、楽しく参加することが出来ました。」「マラソンみたいで面白かった」「地図を見て探すのは、ただ走るより楽しいから」といった感想が見られた。これらは、一般市民が何を求めているかを知る参考にもなるだろう。

(村越 真)



スタート後駆け出すキッズたち(左)、草原を駆けるキッズ(右)